



## 「主体的に」ということ

前号の学校だよりにおいて、「まず、やる！」と決めること、主体的に行動できるかどうかが大変であるということをお伝えしました。本校の目指す生徒像は「響き合い挑戦する粘りっ子」ですが、簡単に言い換えれば「**主体的に行動できる生徒**」を育てたいのです。

学校には美化の時間があります。自分の美化場所を、自分たちのために自分がどのように美しくしようか工夫しながら行う美化と、嫌々ながら行う美化では、**結果としての美化も、心の磨かれ方も全く違うものになります**。ましてやサボる、やらないなんて問題外です。


いずれ挑戦することになる受験勉強でも同じです。生徒たちが乗り越えていく先は義務教育ではありません。**自分の夢の実現のために、なりたい自分になるために、自分で選び、進んでいく進学先です**。先生が勧めたから、親が言ったからなどと言い訳するなど問題外です。自分の夢は何か、なりたい自分とは、自分の課題は何かを考え、実現に向けてどれだけ自分と向き合い頑張れるか、その主体性が問われるのです。

学級づくりでも同じことが言えます。春に各学級で学級目標を決めます。自分たちの学級がこんな学級だったらいいな、という願いを言葉にして、目標にするのですが、決めたらそれでその理想が実現するわけではありません。**実現に向けて自分たちの課題は何かを考え、その解決のために何をすべきか考え、自分も含め仲間同士が、仲間のために行動することができてはじめて、その理想に近づいていくことができる**と思うのです。「誰かが何かをしてくれる」などと口を開け、ぼた餅が落ちてくるのを待っていても理想は実現しません。各学級の人権宣言はもとより、部活動でも、生徒会活動でも同様です。

**学校での学びは、主体的に行動できる自分が変わっていくためにあるのです。**

しかし、気をつけておかないといけないことは「主体的に」と言って「放任」しては主体性は育たないということです。**私たち教職員も保護者の皆様も、子どもたちに対して課題を発見させ、解決方法を考えさせ、意欲をもって取り組むことができるように後押しをすることが大切です**。簡単に答えを教えるだけでは考える力が失われます。「どうしたらいいですか?」という問いではなく、「こうしたいんですけど、どうですか?」と問えるのは、**自分で解決策まで考えられたということ**です。

そして、行動もやりっ放しは駄目です。行動した成果や課題を確認し、修正をしたり、より高い目標に切り替えたりするなどの、事後の手当ても忘れてはいけません。

☆家庭教育12か条☆  
12月は「人や物を大切に」  
～優しさ、思いやりの心を育てる～  


## そうじの「だいじ」は

上記で、美化について触れました。科学技術の進歩に伴って家庭での「そうじ」も大きく変化しつつあります。そうじロボットも普及し始め、ほうきやちり取り、はたきや雑巾を使わない家庭も増えてきています。

しかし、ではなぜ、今でも学校のそうじ(美化)はほうきや雑巾を使って生徒たちが行っているのでしょうか。そこには3つの「**そうじのだいじ**」があるからなのです。そうじの時間の「**だいじ**」については、小学校から言われていることだと思いますので、生徒たちはよく知っていると思います。

**だ**：だまって      **い**：いっしょうけんめい      **じ**：じかんいっぱい

そうじに取り組む上で大切な3つの心がけを最初の文字を取って「だいじ」といっているのです。

しかし、中学校では私が若いころ先輩から教えていただいた、次の「3つのだいじ」だと思っています。

**その1:みんなのために奉仕できる自分になる(奉仕できる自分)**

**その2:みんなと分担、協力できる自分になる(協力できる自分)**

**その3:どうしたらきれいにできるかを考えることのできる自分になる(思考できる自分)**

私たちは、この3つが大事だからそうじに取り組んでいるのです。そうじは新しい自分になっていくための大切な学習の場なのです。機械に頼らず、ほうきと雑巾を持って学んでいるのです。この学習が定着すると、大栄中学校はピカピカになっていきます。学校や教室は生徒たちの姿を映す鏡なのです。



※裏面には、先日実施した「引き渡し訓練」の反省と改善策を記載していますのでご確認ください。

## 「小中合同引き渡し訓練」について反省（保護者アンケートより）

### ① 引き渡し方について

→概ね良好。兄弟、姉妹が同じ場所で引き渡しできてよかった。

悪天候の場合の待機場所を検討する。受付に1年、2年、3年のプレートがあった方がよかった。

- ・案内がわかりやすくスムーズにできていたと思います。（5人）
- ・親も訓練する事でイメージができ、良かったと思います。・学年別にしてあり分かりやすかった。
- ・兄弟と一緒に待っている事はお互いに安心出来て良かったです。
- ・一カ所で迎えが完了したことはとても助かりました。（小中が一緒にいてくれたので）  
が、もしも本当にこのような引き渡しをしなければいけなくなった時に子どもの移動は大丈夫かと不安もあつたりしますが…。（中学生）
- ・問題ないと思いますが、実際には悪天候も考えられます。駐車場の待機とあわせて体育館の引き渡しも将来的に訓練があつたらいいなと思います。
- ・1年、2年、3年というようなプレートを受付の先生が持っている方が分かりやすいのではと感じました。

### ② 駐車場について

→誘導がありよかったが、事前配布文書と止め方が違い、よくわからなかった。

- ・運転する人が譲り合っていて、先生方の指示も分かりやすく、良かったと思います。
- ・指示されたプリントの見方が分からず、どこに停めていいのか分かりにくかった。  
駐車場から出る時、あちこちから車が出てきて、先生が大変そうだったので、一方通行にしたらいと思う。
- ・出入口が一つしかなく、狭いのが気になったが誘導があつてよかった。
- ・どうしても混み合ってしまうので逆行してしまう人も出てきて危ない面もありました。  
引き渡した時に、お手数ですが「車は後ろ側を通過して下さい」等、一人一人声を掛けるのも良いのかなと思いました。

### ③ 駐車場について

→引き渡し訓練の目標である動線の確認はできた。

- ・一回でも訓練していたら、いざという時に良いので、これからもあつたら良いと思う。
- ・帰る時、逆走してくる車（小学校側）があつたので、練習は必要だと思いました。
- ・思っていたより早く子どもたちと合流できたので良かった。
- ・帰る時の道が分かりづらかったです。
- ・車から歩いて受付まで行く時、どこを通れば安全なのか少し分かりにくかったです。
- ・通知をいただいた時には状況がよくわからなくて不安でしたが、実際に行ってみて様子がわかりました。正規の時間に行くことができず、残念でしたが、訓練ありがとうございました、お疲れさまでした。

### 【改善策】

- 小学校と中学校教職員の共通理解。
- 引き渡しカードの小中学校での統一形式。
- 各駐車場内での車の駐車の方法や動線並びに歩行者の動線。
- 雨天時の災害における小中学校合同引き渡し。

※小中合同引き渡し訓練においてご協力、ありがとうございました。

※改めて改善策を反映させた文書を配付しますので、ご確認をお願いします。



